

# 奥尻島青苗遺跡

図版編

1979

函館土木現業所  
奥尻町教育委員会

# 奥尻島青苗遺跡

図 版 編

1979

函館土木現業所  
奥尻町教育委員会

## 執 筆 者

### 写真説明

土層・遺物・遺構	佐藤忠雄
動物遺体	金子浩巳
鉄 洋	飯塚正弘・長野伸泰
樹 種	滝沢忠昭

### 遺物分類

土器・骨角器・鉄器ほか	佐藤忠雄
石 器	河野本道

### 写真撮影

現地関係	佐藤忠雄・河野本道
整理関係	佐藤雅彦



宝津島より奥尻島を遠望する（左に長く伸びる段丘の先端付近が青苗遺跡）



青苗港防波堤より青苗遺跡を遠望する（写真中央段丘を登る道路右上）





青苗遺跡の航空写真



山本台地の遠景（青苗貝塚より望む）



青苗貝塚 貝層の縦断面



青苗貝塚 横断面の状態



青苗貝塚 乙部層・駒ヶ岳層に挟まれた貝層の断面



青苗貝塚 海獣骨(アシカ類)、羽口、鉄滓の出土状態 (SJ-8区)



青苗貝塚 骨角器の出土状態 (上.SJ-8区、下.SK-8区)



青苗貝塚 遺物の出土状態



墓所前三叉路 湯水溜遺構



墓所前三叉路 南発掘区の層位



墓所前三叉路 南発掘区遺物の出土状態



墓所前三叉路 南発地区縄文前期の竪穴（上、Ⅲ、Ⅴ、ⅩⅣ号竪穴、下Ⅵ号竪穴）





墓所前三叉路 南発堀区出土の埴文土器



山本台地発堀区出土 刻線画のある埴文土器





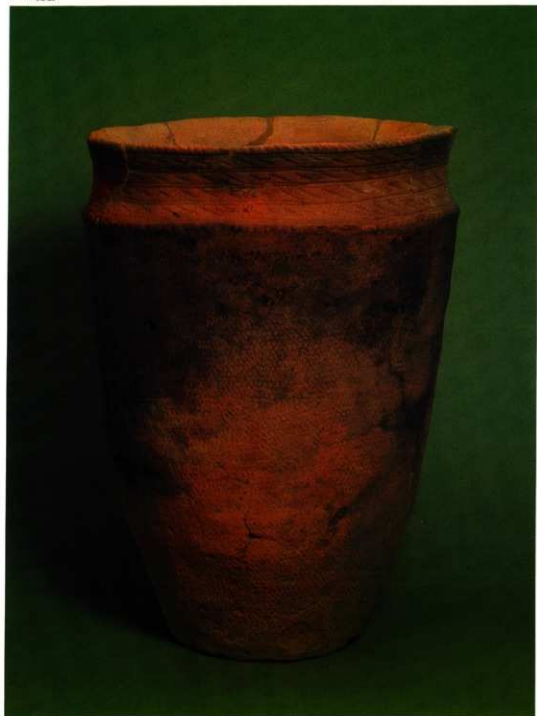
青苗貝塚出土の骨角器



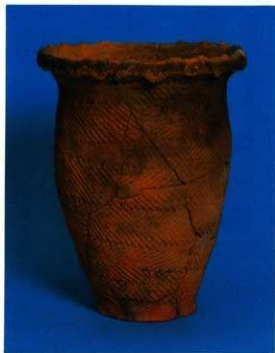
山本台地 墳墓出土の玉類 Size 4/5



墓所前三叉路出土の玉・飾石類 Size 9/14



墓所前三叉路 南発堀区出土の円筒下層式土器



墓所前三叉路 西北発掘区出土の円筒上層式土器



墓所前三叉路 南発掘区出土の円筒上層式土器



墓所前三叉路 南発掘区出土の円筒上層式土器



1



2



3

4



5

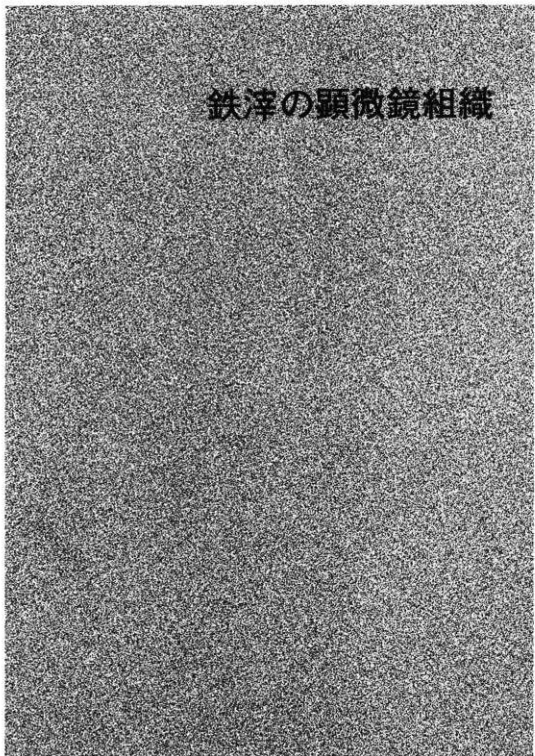


墓所前三叉路 南、西北発掘区出土の円筒上層式土器 (3は下層式土器)



墓所前三叉路 南、西北発掘区出土の円筒土器にともなう石器 Size 5/6

# 鉄滓の顕微鏡組織





## 鉄滓(青苗遺跡出土)の顕微鏡組織

### 凡 例

#### 初生鉱物

Iron	Fe	純鉄	Fe
Wustite	FeO	ウスタイト	Wu
Magnetite	Fe <sub>3</sub> O <sub>4</sub>	磁鉄鉱	Mgn
Fayalite	Fe <sub>2</sub> SiO <sub>4</sub>	鉄燐酸石	Fy
Maghemite	γ-Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	磁赤鉄鉱	Mgh

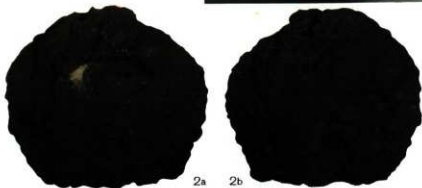
マグヘマイト様鉱物

#### 二次鉱物

Magnetite	Fe <sub>3</sub> O <sub>4</sub>	磁鉄鉱	Mgn
		ヘマタイト様鉱物	
Hematite	α-Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	赤鉄鉱	Hm
Lepidocrocite	γ-FeO(OH)	鱗鉄鉱	Lp
Goethite	α-FeO(OH)	針鉄鉱	Go
初生			
Unknown mineral		未詳鉱物	UN



鉄 滓 890g  
 SG=貝塚台地 製錬遺構  
 1a 凹面  
 1b 凸面  
 1c 検鏡断面



鉄 滓 695g  
 CE=山本台地 発掘区  
 2a 凹面  
 2b 凸面  
 2c 検鏡断面



鉄滓の顕微鏡組織(1)

青苗遺跡・貝塚台地 製錬遺構、山本台地 発掘区出土

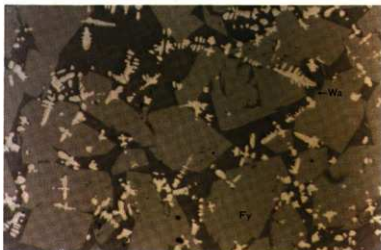
Pl. XVIII

SG 1

Wu 灰黄色

Fy 帯緑灰色

×100 dry



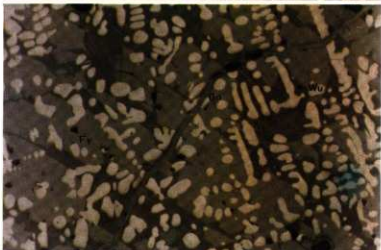
SG 2

Wu 灰黄色

Fy 帯緑灰色

Go 帯緑暗褐色

×100 dry



SG 5

Wu 灰黄色

Mgn 黄色

・空気系の対物レンズ  
では区別が困難

Fy 帯緑灰色

Hm 帯黄白色

Lp 帯緑明褐色

Go 帯緑暗褐色

×100 dry

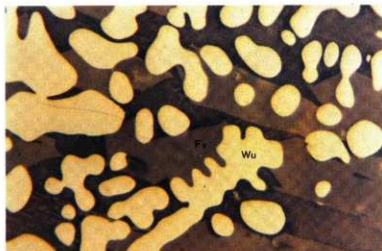


鉄滓の顕微鏡組織(2)

青苗遺跡・貝塚台地 製錬遺構出土

SG 9

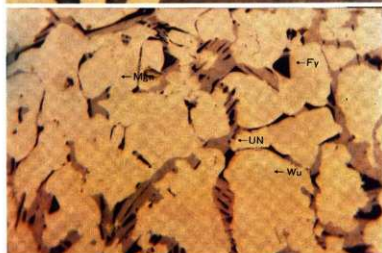
Wu 灰黄色  
Fy 带绿灰色



×250 oil

SG 10

Wu 灰黄色  
Mgn 黄色  
Fy 带绿灰色  
UN 黄灰色



×250 oil

SE 1

Wu 灰黄色  
Fy 带绿灰色  
Mgn 带青灰白色  
Fe 辉黄色  
Lp 带绿明褐色  
Go 带绿暗褐色



×100 dry

鉄滓の顕微鏡組織(3)

青苗遺跡・貝塚台地 製鉄遺構、山本台地 発掘区出土

PI.XX

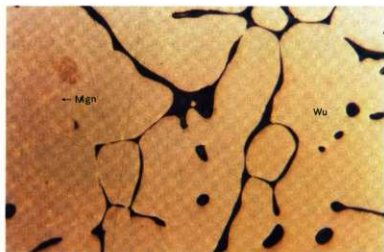
CE 7

Wu 灰黄色

Mgn 黄色

Fy 带绿灰色

×250 oil



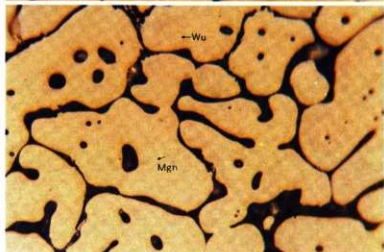
CE 8

Wu 灰黄色

Mgn 黄色

Fy 带绿灰色

×250 oil



CE 9

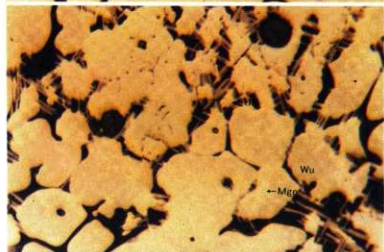
Wu 灰黄色

Mgn 黄色

Fy 带绿灰色

UN 黄灰色

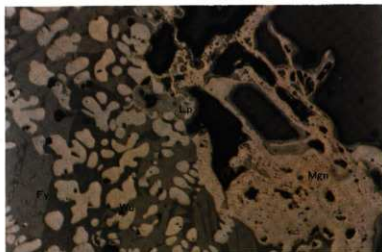
×250 oil



鉄滓の顕微鏡組織(4)  
青苗遺跡・山本台地 発掘区出土

GF 1

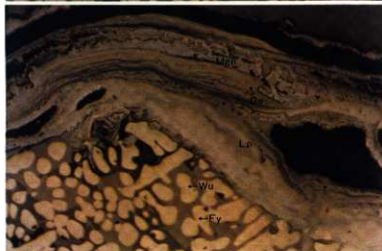
- Wu 灰黄色
- Fy 帯緑灰色
- Mgn 黄色
- Lp 帯緑明褐色



×100 dry

GF 5

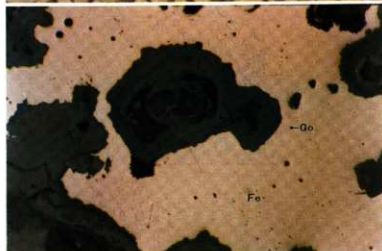
- Wu 灰黄色
- Fy 帯緑明褐色
- Lp 帯緑明褐色
- Go 帯緑暗褐色
- Mgn 黄色



×100 dry

GF 6

- Fe 輝黄色
- Lp 帯緑明褐色
- Go 帯緑暗褐色



×100 dry

鉄滓の顕微鏡組織(5)

青苗遺跡・墓所前三叉路 発掘区出土

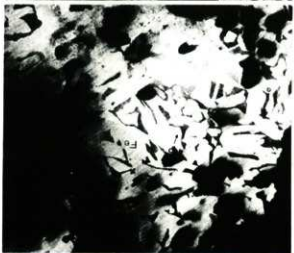
GF7  
 Fe 輝黄色  
 Wu 灰黄色  
 Ey 帯緑灰色  
 Lp 帯緑明褐色  
 Co 帯緑暗褐色



×100 dry

顯像像  
 原液濃3%硝酸アルコール  
 Fe 白色部  
 a- 鉄 (フェライト)  
 P 黒色織状部+フェライト  
 組織  
 $Fe_3O_4(セムツァイト)+a-鉄$

×100



Fe 白色  
 P 黒色織状

×400



鉄滓の顕像組織(6)  
 舞鶴通路・壘所前三叉路 発掘区出土

## 目次

### 青苗遺跡（縄文文化）

青苗貝塚	PL. 8
貝塚台地・製鹽遺構・発掘区	PL. 41
山本台地・投票溝・発掘区・墳墓	PL. 51
墓所前三叉路・東南・南発掘区	PL. 82
動物遺体	PL. 94

### 青苗貝塚・山本台地投票溝（縄文文化）

墓所前三叉路・南発掘区	PL. 121
墓所前三叉路・西北発掘区	PL. 195
清水溜木枠の顕微鏡組織	PL. 238



#### 青苗遺跡の航空写真

上面に見えるのが青苗湾と市街地の町並、岬は右に細長く突出している。右下隅の海は日取湖、左斜めに走る道路が神威脇に至る道道奥尻島線である。青苗遺跡は写真のほぼ中央にある幕所前二叉路の周辺一帯で方形に残された畑圃のあるところが遺跡の範囲である。



青苗遺跡の航空写真

#### 墓所前三叉路 発掘前の状態

青苗墓所前道路は右が青苗市街、左が神威脇に至る。この広い平坦地は俗に千段と呼ばれているが、正しい地名は米岡である。千段は更に北のカバラシカフサンナイの沢を越えた東側段丘上にあり、米岡第2遺跡が所在する。青苗遺跡の名称で総括される遺跡の広がりには寺屋敷段丘比高50～60mと青苗碑段丘比高4m±の漸移緩斜面比高20～30mの東南部一帯で、とくに運送点付近に集中している。墓所前三叉路はその中心であり、概ね、上層に縄文文化期、下層に縄文前・中期の遺物、遺構が重複している。写真上は調査箇所よりみた三叉路。遠くに神威岳(584.3m)の山並みが見える。下は西北発掘区より東南を望む。中央に見えるプレハブが調査箇所。



墓所前三叉路 発掘前の状態

#### 貝塚台地 発掘前の状態

下草の刈られている平坦面が貝塚台地である。永年、圃地として耕作されていたが、深さは包含層に達していない。手前の道路は台地の西面崖地添いを掘り割って開設した道々奥尻島線で、その工事の際には多量の遺物が出土したといわれている。

#### 青面貝塚 発掘調査の状況

発掘前は綿羊を放飼していたこともあり、雑草、イタドリが繁茂し、地表面には、かつての発掘調査や盗掘によって掘り返された貝・獣骨類が粉末化して一面に分散していた。貝塚の坵がりは台地から斜面への遷急点より東南に向い凡そ10～12mの長さ、8mの幅で、更に東方に伸びているものと思われる。

遠くに見える町並みは初松前、海岸段丘の発達が顕著で寺尾数段丘、米岡段丘、赤石段丘などの面が容易に見取れる。



貝塚台地 発掘前の状態と青苗貝塚 発掘調査の状況

#### 墓所前三叉路 南発掘区

三叉路左の道路は南の碑に至る。発掘区は道路左右の休耕地と現道路下で、バス路線確保のため、西側の発掘終了をまって仮道が設けられた。

#### 貝塚台地 発掘調査の状況

- ・ 東南発掘区より台地を望む。
- ・ 台地のほぼ中央に検出された縄文前期の竪穴の発掘状況。10箇土器土層、下層式土器の小片が混在して出土する。竪穴の向う側を横に伸びる浅い溝（箸の立っている付道）は完掘された製錬遺構の床面。



南発掘区、貝塚台地 発掘調査の状況



#### 青苗貝塚 山本台地投棄溝の発掘調査の状況

- ・ 青苗貝塚J-7区東南部末端の貝層、すぐ右側が道路のノリ面で貝層の一部が露呈している。
- ・ 投棄溝CW-2区西面の調査の状況。
- ・ 青苗貝塚斜面から山本台地を遠望する。(中央奥の電柱手前)



青苗貝塚 山本台地投棄溝の発掘調査の状況

#### 壱所前三叉路 西北発掘区 発掘前の状態

- ・発掘区の成景，昭和10年～20年代にかけて耕作されていたが，ここ久しく荒地になっていた。背後に奥尻空港の滑走路が伸びてきている。
- ・長さ約80m，幅10mの発掘区に磁北を求めて4×4mのグリッドを設定する。表層厚さ20cmは軽量ゾルドーザで除去する。



墓所前三叉路、南発掘区と貝塚台地の発掘調査の状況

#### 墓所前三叉路 西北発掘区 発掘調査の状況

- ・ G X 5 ~ Y 11 ~ 12 グリッドの掘開状況、奥に向うほど燐灰層は深くなるが、遺物の包含密度は薄くなる。
- ・ G X 6 ~ 9 Y 13 ~ 18 グリッドで竪穴が検出される直前の状況。地傾斜に従って水の當力により固く締まった燐灰ローム層が厚く堆積しており、遺物は円筒土層、下層式が層位的区別なく混然一体となって出土する。乾燥時の状態で竪穴の落ち込みを見極めることは難しく、絶えず散水が行なわれた。



墓所前三叉路 西北発掘区 発掘調査の状況

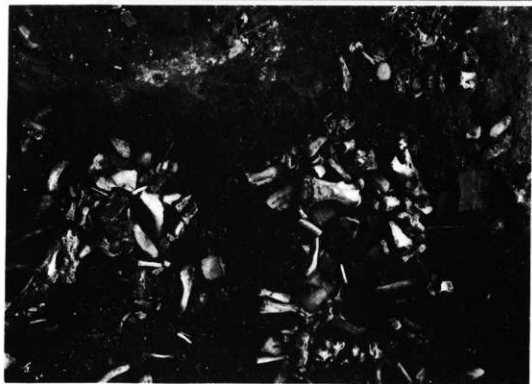
廣文文化

青苗貝塚

**青苗貝塚 遺物、海獣骨の出土状態**

- ・ S1-7区東南壁面。火山灰は乙部層で手前の右地寄りには欠層している。アシカの上脛骨、橈骨の出土があり、その下部に厚い魚骨、ウニ層が堆積している。貝類は少なく、細片化が目立つ。
- ・ S1-7区乙部直下に検出されたオットセイ、アシカ類の遺骸と擦文土器。

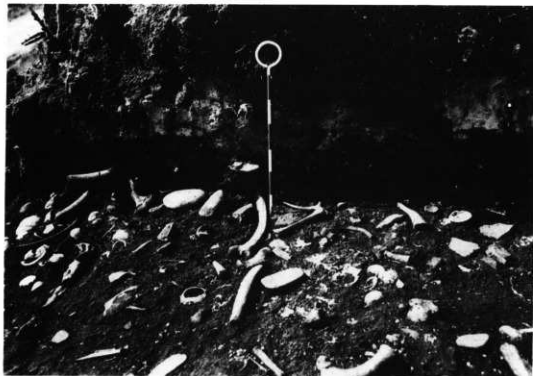




青苗貝塚 遺物 海獣骨の出土状態

#### 青苗貝塚 貝層の堆積と平面分布の状態

- ・ S J - 7 区第 1 貝層上面の出土状態。火山灰層は乙部層。写真は比較的厚い堆積を示しているが部分的に擾乱による欠層がみられる。
- ・ S J - 8 区第 2 貝層上面の出土状態。断面に整然とした二枚の貝層がみられるが、S K - 8 区ではオーバーラップし一枚になっている。右から三角状に切り込んでいるローム層の箇所は過去の調査によるものである。



青苗貝塚 貝層の堆積と平面分布の状態

#### 青苗貝塚 貝層の分布と遺物の包含状態

- ・ S1-7区東南取面における土層断面である。厚い乙部層の下は泥土貝層、魚骨層で遺物はその下位にあり、薄い駒ヶ岳<sup>a</sup>火山灰層の弱横の上にあるように包含されている。このレベルはS J-7区で認められた第2貝層に連続する。
- ・ S J-7～8区に検出された第2貝層の分布でS K-7～8区に拡がりをもつが、二、三の箇所にも奥尻ローム層に達するポットホールがある。本区では鉄器、骨角器、撥文土器などの遺物が取り分け多く出土した。



青苗貝塚 貝層の分布と遺物の包含状態

#### 青苗貝塚 貝層の平面分布と堆積の状態

- ・SK-8区第2貝層の掘り、貝層はエゾアワビ、ウニ、ホタテガイが主でマダラ、ホッケなどの魚骨、アシカ、オットセイなどの獣骨、アホドリ、カモメ、カラスなどの鳥骨の出土が顕著である。グリッドの中心より東南に向う地傾斜が急になり貝層は切れる。
- ・SK-8区の完掘した状態で底面は奥尻ロームの再堆積層である。再堆積層はこれより下方に向い次第に層厚を増し、縄文前・中期の土器小片、石器を噴み込むように包含している。



青苗貝塚、貝層の平面分布と堆積の状態

#### 青苗遺塚 貝層の平面分布の狀態

- ・写真上はS N-10区北東隅、下はS L-10区東南隅の貝層の平面である。両区の表層は移動した痕跡があり、貝層も可なり流亡しているものと思われるが、Koe層上に辛ろうじて残っている安定した薄い貝層があり、若干の竹角器を出土した。





青苗貝塚 貝層の平面分布の状態

#### 青苗貝塚 遺物の出土と貝層の平面分布の状態

- ・ S K - 9 区の西北隅（ベルト）の遺物の出土状態、8 個の焼痕のある砂質泥岩の塊りと、その周囲に大型深鉢形の標文土器、小鉄滓、竹角器の中柄、圓角い孔のあいたアワビの貝殻がみられる、これらのは薄いウニ殻層となっている。写真上の竹はアシカの尺竹？。
- ・ S K - 9 区の貝層の平面、東南方向に貝層は薄くなっているが、S K - 10 区の部分的に残された擾乱状態の貝層、S I - 10 区の貝層と断続的なつながりが見られる。この付近は昭和31年（早大調査）のトレンチ設定箇所と推定される場所であり、消滅したものである。



青苗貝塚 遺物の出土と貝層の平面分布の状態

#### 青苗貝塚 土層面にみる貝塚の堆積状態

- ・ S J - 7・8 区北壁の上層断面で、本貝塚の形成時期を知るうえの基本的な拠り所となった。層順は現地表 Osa 層（波島大島火山灰層）黄白色の乙部層、薄い黒色の腐蝕層（OsaA 層）、第 1 貝層（遺物包含）、黒褐色土層、第 2 貝層（遺物包含）、黒色の薄い腐蝕層（KoeA 層）、黄棕色の KoeC 層（駒ヶ岳 c 火山灰層）、黒色の OsaI/II 層 A 層、黒色～黄棕色の奥尻ローム A、B 層、奥尻ローム再堆積層（遺物包含）となっている。貝層の層厚は第 2 貝層の方が厚い。
- ・ S J - 7・8 区を西から見た上層断面である。東壁では第 2 貝層が中央から始まり南寄りに厚さを増している。写真左の北壁に認められた第 1 貝層は南の斜面に近く、末端の流れと思われる小量の貝類や遺物が浮いた状態にあるだけで短い期間の使用であったらしい。第 2 貝層は北から東南の方向に分布している。



青苗貝塚 土層断面にみる貝層の堆積状態

#### 青苗貝塚 土層断面にみる貝層の堆積状態

- ・ S L、N-10区東側の土層断面である。写真中央の窪みは昭和31年調査（早大）によるもので、下の火山灰の欠失している幅がドレンチの部分らしい。左手の火山灰は乙部層、右手は駒ヶ岳火山灰層（S L-10区）で、未発掘箇所は貝層の裾が S L-10区東側に伸びているものと思われる。なお、この箇所の貝層の上部は過去の発掘調査時に人為的に被覆されたもので、安定した状態を示しているのは K o e 層の上、層厚 15cm 前後である。
- ・ S J、K-8区東側の土層断面である。S K-8区、S K-9区のベルトに奥尻ローム層に達するテストピットと考えられる痕跡があるが、本貝塚の中ではブライマリーな面を多く残すところ。
- ・ 応、貝塚の形成過程を窺うことができる。



青苗貝塚、土層断面にみる貝層の堆積状態

青苗貝塚 魚骨、貝殻の出土状態 (1)

- ・ S J - 8 区第 2 貝層におけるウニ類の集積。棘皮が極めて生鮮な状態を保っていた。
- ・ 魚類の歯骨、鰓蓋骨がウニ殻層上面に出上する。





青苗貝塚 魚骨、貝類の出土状態 (1)

1  
青苗貝塚 魚骨、貝類の出土状態 (2)

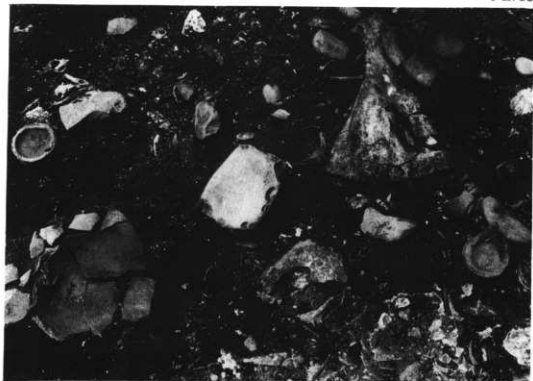
- ・ S J - 8 の第 2 貝層上面の出土状態である。アワビの貝殻が殆んど原形を保って堆積しており、中には長径 10cm 前後の大型のものも多く含まれている。貝類はウニ殻層を埋めるように密集して出土するが、その下部は純ウニ殻層になっており、厚いところでは 10~15cm の層厚を計る。写真左下隅にアシカの脛骨、右上に肋骨がみえる。右下は PL. 24-3 の撥文土器。
- ・ 同じ S J - 8 区における魚骨の出土状態で、貝殻層の下、ウニ殻層の上に魚骨の出土が顕著である。



青苗貝塚 魚骨、貝類の出土状態 (2)

#### 青苗貝塚 陸・海獣骨角の出土状態

- ・ S J 8区、櫛文土器とアシカの肩甲骨、魚類の肋骨骨、鳥類の大腿骨？の出土状態。周辺の貝類にはヒレガイ、ホタテ貝、アソビなどがみられるが細粒化している。写真右手、肩甲骨の上下にある丸棒状の石は未加工品であるが、一定の長さをもっており、貝塚や投棄溝からも数多く出土する。
- ・ S K-9区における切痕のある鹿角の出土状態。



青苗貝塚 陸・海獣骨角の出土状態

#### 青苗貝塚 遺物の出土状態 (1)

- ・ S J-8区に出土したクジラの肋骨、一定の長さに切離し、半截にされている骨角器の素材。
- ・ S K-9区における骨角器(中柄)の出土状態、若獣の大腿骨、鎖骨、尺骨、肋骨、脊椎骨、魚類の歯骨などと共存している。ここにも四角い孔のあいたアワビの貝殻がみられる。

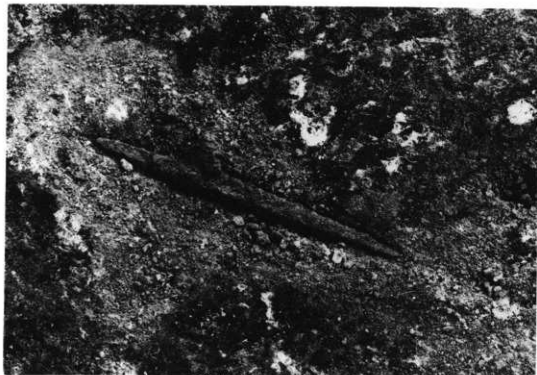


青苗貝塚 遺物の出土状態 (1)

青苗貝塚 遺物の出土状態 (2)

- ・ S J - 7 区、刀子の出土状態。
- ・ S J - 7 区、大山灰 (乙部層) 直下に出上したヤス?

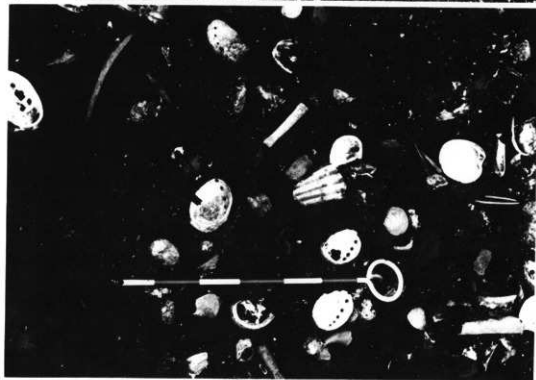
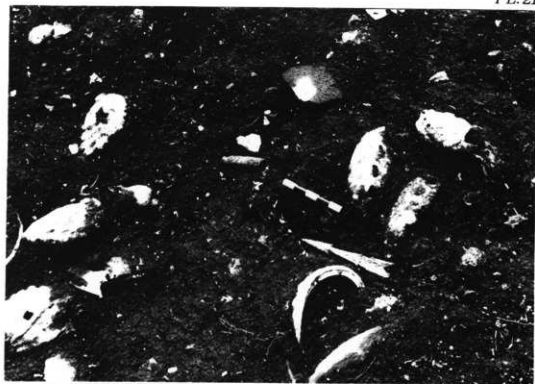




青苗貝塚、遺物の出土状態 (2)

### 青苗貝塚 遺物の出土状態 (3)

- ・ S J - 7 区南西隅でウニ殻層上面に出土した龜頭結頭。
- ・ S J - 8 区出土のアワビの貝殻に開けられた四角い孔。鉄製のヤスで突いたと思われる痕跡で数多くの例がみられる。



青苗貝塚 遺物の出土状態 (3)

青苗貝塚出土の標文土器 (1)

写真番号	発掘区	種 類	計 測 値				備 考
			器高(mm)	口径(mm)	底部径(mm)	厚さ(mm)	
1	SK-9	中型深鉢形	246	(314)	98	7	
2	SJ 7	〃	(150)	256	—	6	
3	SK-9	大型深鉢形	292	376	92	8	
4	SJ-9	〃	260	260	74	6	
5	SJ 7	〃	(128)	283	—	6	
6	SJ 7	小型深鉢形	121	(134)	57	6	



青苗貝塚出土の擦文土器 (1)

青苗貝塚出土の埴文土器 (2)

写真番号	発掘区	種 類	計 測 値				備 考
			器高(mm)	口径(mm)	底径(mm)	厚さ(mm)	
1	SK-8	大型深鉢形	(162)	292	—	6	
2	SJ-8	中型深鉢形	243	262	83	6	
3	SG-8	大型深鉢形	(253)	322	—	6	
4	SK-9	中型深鉢形	(182)	243	—	6	
5	SJ-7	*	233	260	79	6	
6	SJ-8	*	224	241	73	5	



青苗貝塚出土の櫛文土器 (2)

青苗貝塚出土の標文土器 (3)

写真番号	発掘区	種類	計測値				備考
			器高(mm.)	口径(mm)	底部径(mm)	厚さ(mm)	
1	SK-8	中型深鉢形	238	(236)	(80)	7	
2	SJ-8	+	229	223	78	6	
3	SJ-8	+	150	(154)	52	4	
4	SJ-7	小型深鉢形	134	(142)	—	5	
5	SJ-7	中型深鉢形	(225)	213	—	5	





青苗貝塚出土の権文土器 (3)

青面貝塚出土の擦文土器 (4)

写真番号	発掘区	種 類	計 測 値				備 考
			器高(mm)	口径(mm)	底部径(mm)	厚さ(mm)	
1	SK-9	中型深鉢形	(187)	230		6	
2	SJ-7	大型深鉢形	262	(306)	88	6	
3	SJ-7	⊕	(218)	(348)	—	6	
4	SK-9	⊕	264	(310)	98	6	
5	SJ-7	⊕	(226)	294	—	7	
6	SK-8	壺 形	(75)	121	—	5	



青苗貝塚出土の埴文土器 (4)

青苗貝塚台地出土の擦文土器 (5)

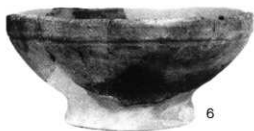
写真番号	発掘区	種 類	計 測 値				備 考
			器高(mm)	口径(mm)	底部径(mm)	厚さ(mm)	
1	SB-2	中 鉢 形	82	109	57	4	
2	SF-6	+	88	(107)	56	5	
3	SF-5	中型深鉢形	(222)	262	---	6	
4	SF-5	大型深鉢形	272	318	93	6	
5	SF-4	中型深鉢形	156	178	69	5	
6	SF-5	+	186	194	(60)	7	
7	SF-5	台付浅鉢形	80	168	60	5	
8	SB-2	中型深鉢形	(148)	---	76	6	



青苗貝塚 台地出土の櫛文土器 (5)

青苗貝塚出土の擦文土器 (6)

写真番号	発掘区	種	類	計				備	考
				器高(mm)	口径(mm)	底部径(mm)	厚さ(mm)		
1	SK-9	中	鉢形	(76)	122	—	7		
2	SK-9		◇	90	(129)	54	4		
3	SK-8		◇	103	(120)	60	5		
4	SK-8		◇	86	118	46	4		
5	SK-9		◇	77	(93)	46	5		
6	SK-9	台付	浅鉢形	60	132	—	7		
7	SJ-7	中	鉢形	104	126	61	5		

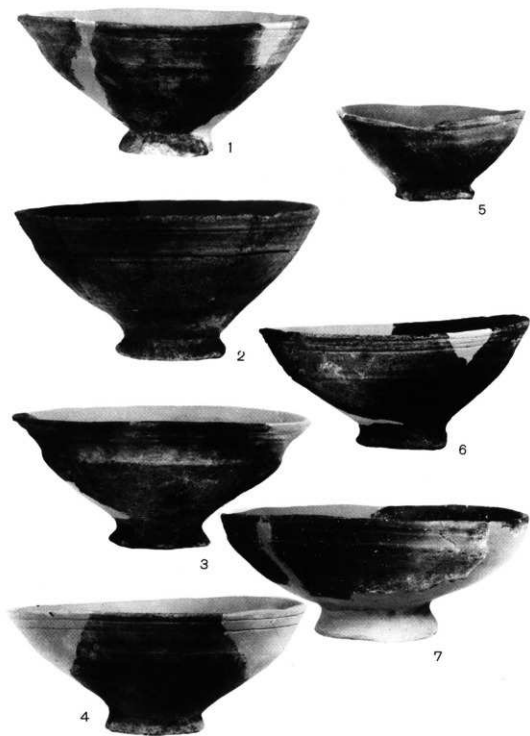


青苗貝塚出土の埴文土器 (6)

青苗貝塚出土の摺文土器 (7)

写真番号	発掘区	種 類	計 測 値				備 考
			器高(mm)	口径(mm)	底部径(mm)	厚さ(mm)	
1	SK-9	台付浅鉢形	66	164	55	5	
2	SJ-8	◇	79	161	57	6	
3	SJ-8	◇	69	160	54	5	
4	SK-9	◇	66	(160)	54	4	
5	SL-10	◇	47	(103)	45	5	
6	SJ-7	◇	71	147	50	5	
7	SK-9	◇	(46)	162	—	6	





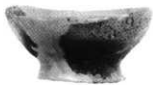
青苗貝塚出土の模文土器 (7)

青苗貝塚出土の埴文土器 (8)

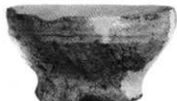
写真番号	発掘区	種	類	計 測 値				備 考
				器高(mm)	口径(mm)	底部径(mm)	厚さ(mm)	
1	SJ-7	杯	形	33	64	43	5	
2	SJ-8	*		40	78	48	6	
3	SJ-8	*		48	91	56	5	
4	SI-8	台付浅鉢形		55	109	51	5	
5	SK-9	*		(56)	175	—	6	
6	SJ-8	*		74	(162)	65	6	
7	SJ-8	*		74	(160)	63	5	
8	SK-9	*		82	(164)	57	5	



1



2



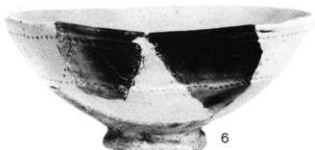
3



4



5



6



7



8

青苗貝塚出土の擦文土器 (8)

青苗貝塚 貝塚台地出土の縄文土器 (9)

写真番号	発掘区	出土層位	種類	計測値			
				器高(mm)	口径(mm)	底部径(mm)	厚さ(mm)
1	SJ-8	西堆積C層	第3群	(192)		80	5
2	SE-5	西堆積C層	第3群	71	(79)	38	6
3	S1-7	奥尻ロームA層	第5群	94	142	(112)	6



1



2

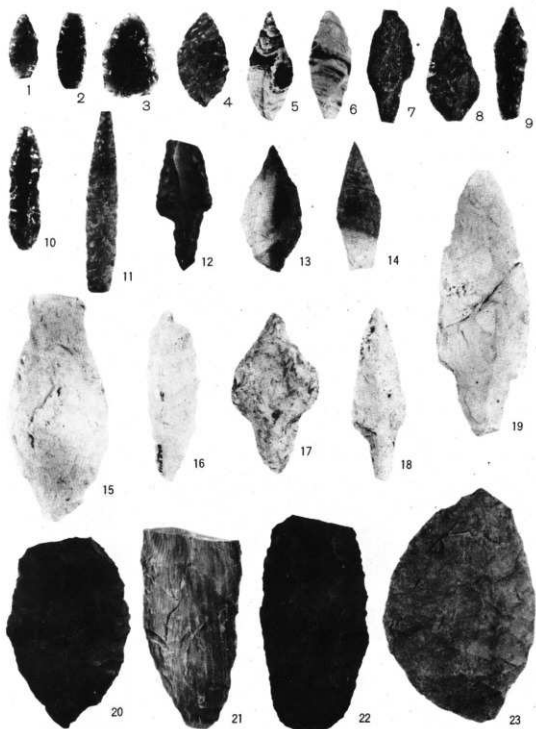


3

青苗貝塚 貝塚台地出土の縄文土器 (9)

青苗貝塚、貝塚台地出土の石器 (1)

写真番号	発掘区	種	類	計測・計量値				備考
				長さ(mm)	巾(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	
1	SB-3	石	鏃	17	8	2	0.2	黒曜石
2	SB-2	*		(21)	8	2	0.4	*
3	SB-3	*		24	15	4	1.4	*
4	SE-7	*		26	15	4	1.2	
5	SE-7	*		30	12	4	1.1	
6	第1号竪穴	*		(29)	12	4	1.0	
7	SE-7	*		(30)	13	5	2.0	
8	第1号竪穴	*		30	15	5	2.0	
9	SE-7	*		30	15	5	2.0	
10	SJ-8	*		33	9	4	1.2	黒曜石
11	SL-10	*		(48)	9	4	1.5	
12	SL-8	*		(34)	15	3	1.7	
13	第1号竪穴	*		34	17	5	2.5	
14	SL-10	*		34	12	3	1.0	
15	第1号竪穴	石	小刀	60	27	10	6.9	
16	第1号竪穴	*		45	15	7	4.0	
17	SJ-8	石	鏃	43	23	5	3.3	
18	SJ-8	*		47	15	6	2.6	
19	SI-7	石	槍	71	25	8	9.5	
20	SJ-8	石	小刀	5.1	33	10	16.2	
21	SJ-7	*		5.4	27	10	14.2	
22	SJ-8	*		5.7	29	11	23.3	
23	SI-7	*		6.2	40	10	22.6	

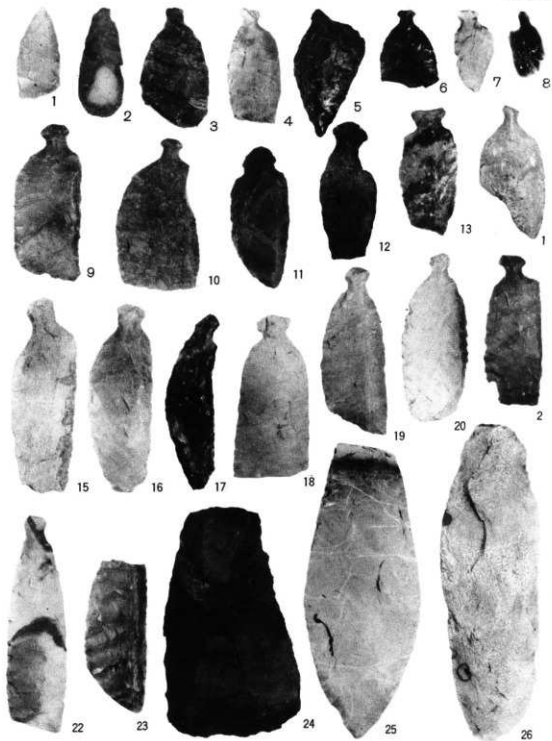


青苗貝塚 貝塚台地出土の石器 (1)

青苗貝塚 貝塚台地出土の石器 (2)

写真番号	発掘区	種 類	計 測 ・ 計 量 値				備 考
			長さ(mm)	巾(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	
1	SI-10	彫 器	36	17	5	38	
2	SL-10	エンド・スクレーパー	43	18	5	4.6	
3	SM-10	有柄細長サイド・スクレーパー	48	38	7	8.2	
4	SM-10	木葉形スクレーパー	45	21	5	5.5	
5	SJ-9	有柄スクレーパー	51	29	9	9.2	
6	SE-7	木葉形スクレーパー	31	22	4	2.5	
7	SB-3	*	33	17	5	1.5	
8	SJ-9	未 製 品	27	15	4	1.2	黒曜石
9	SB-3	有柄スクレーパー	61	27	5	11.2	
10	SB-3	*	60	32	4	10.3	
11	SJ-9	*	57	23	6	8.2	
12	SH-2	*	54	23	6	7.5	
13	SB-3	*	51	23	5	5.9	
14	SJ-8	*	54	26	5	6.6	
15	SB-3	有柄細長サイド・スクレーパー	77	25	8	16.3	
16	第1号裂穴	*	74	26	7	13.1	
17	SI-9	*	69	19	6	9.5	
18	SJ-7	*	65	30	5	12.3	
19	SL-10	*	64	26	7	11.0	
20	SL-8	*	66	26	6	9.9	
21	SM-10	*	60	24	5	9.3	
22	SL-10	*	86	24	5	11.0	
23	SB-3	石 小 刀	60	26	5	10.0	
24	第1号裂穴	石斧形打製粗工品	92	53	24	130.0	第3類
25	SK-10	石 小 刀	115	46	9	52.0	
26	SD-4	*	124	40	16	62.4	

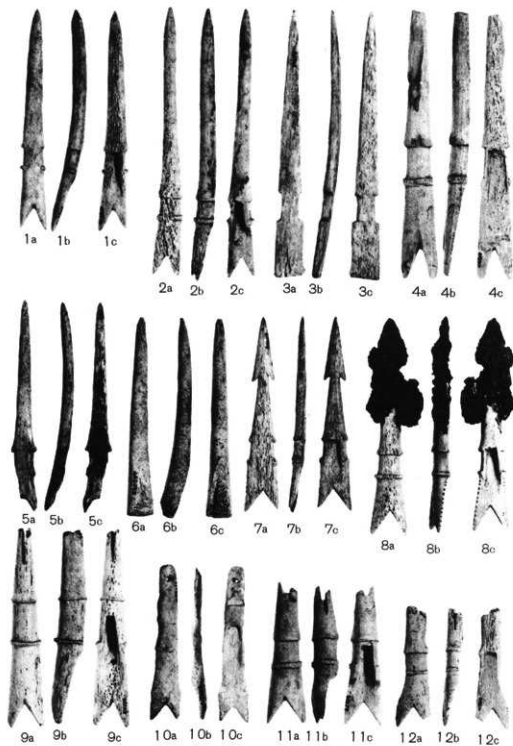




青苗貝塚 貝塚台地出土の石器 (2)

青苗貝塚出土の骨角器 (1)

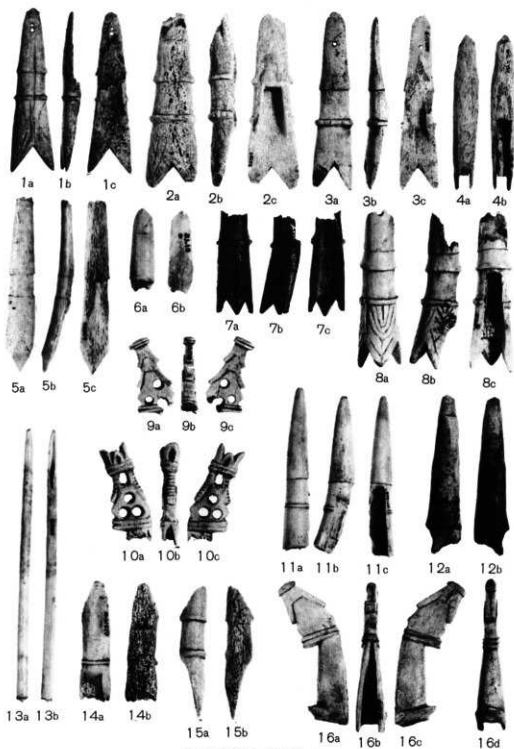
写真番号	発掘区	種	類	計測・計量値				備考
				長さ(mm)	巾(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	
1	SJ-7	離	類	88	10	5.5	4.6	
2	SJ-7	*		108	10	7	4.1	
3	SJ-8	*		107	12	4	4.8	未成品
4	SK-10	*		(106)	14	6.5	(7.5)	*
5	SK-8	*		83	8	4.5	2.8	尾部欠損
6	SJ-7	*		78	11	7	2.8	未成品
7	SJ-9	*		78	14	4	2.5	
8	SJ-8	*		87	11	5.5	8.2	鉄製ブレード
9	SK-8	*		(ブレードも含む)	78	14	10.5	装着 ブレードスリ ット縦位置
10	SI.-10	*		62	12	4	2.6	
11	SJ-7	*		(56)	15	9	(4.1)	先端部欠損
12	SI.-10	*		(48)	13	5	(1.4)	*



青苗貝塚出土の骨角器 (1)

青苗貝塚出土の骨角器 (2)

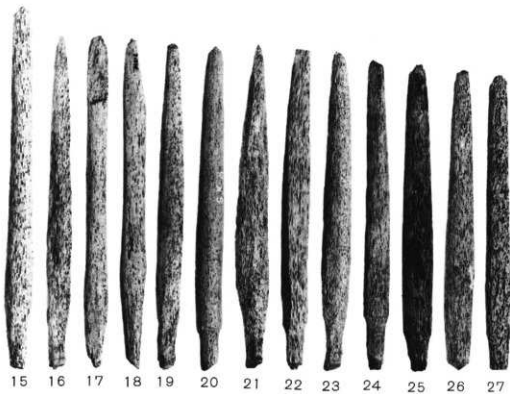
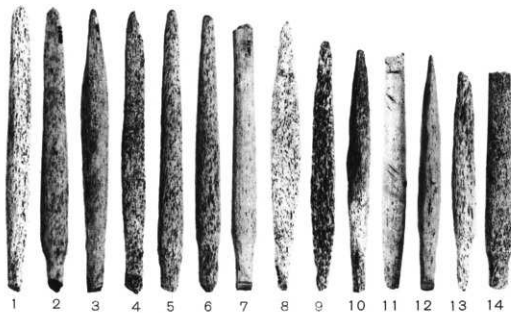
写真番号	発掘区	種 類	計 測 ・ 計 量 値				備 考
			長さ (mm)	巾 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	
1	SJ-9	離 頭 鋸 頭	64	17	7.5	4.1	背面シケット、スリット部欠損
2	SJ-9	＊	(69)	20	10	(5.7)	背面スリット部先端欠損
3	SI-7	＊	70	16	6.5	4.8	背面スリット部先端欠損
4	SK-8	＊	62	10	7	3.5	
5	SK-7	＊	(69)	11	5.5	(4.5)	先端部折損
6	SL-10	＊	(33)	10	5	(1.6)	スリット部分
7	SK-7	＊	(41)	15	11	(4.4)	先端部折損
8	SK-10	＊	(63)	18	12	(7.2)	＊
9	SK-7	装 飾 柄	(30)	15.5	7.0	(1.6)	
10	SK-7	＊	(41)	16.0	7.5	(2.6)	
11	SL-10	離 頭 鋸 頭	64	10	9.5	5.2	未製品
12	SK-10	＊	(63)	14	13	(6.5)	＊
13	SJ-7	刺 突 具	109	5	4	1.4	
14	SM-10	離 頭 鋸 頭	(47)	11	7	(3.2)	スリット部欠損
15	SL-10	＊	(52)	12	5	(2.2)	＊
16	SM-10	装 飾 柄	58	11.5	12.5	6.8	未製品



青苗貝塚出土の骨角器 (2)

青苗貝塚出土の骨角器 (3)

写真番号	発掘区	種	類	計測・計量値				備考
				長さ(mm)	巾(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	
1	SJ-8	中	柄	114	9	—	6.2	
2	SJ-7	*		113	11	—	5.8	
3	SJ-7	*		112	11	—	7.6	
4	SK-10	*		113	10	—	4.6	
5	SJ-7	*		112	10	—	5.9	
6	SK-9	*		110	10	—	8.3	
7	SJ-8	*		(105)	10	—	(5.8)	先端部折損
8	SJ-9	*		107	12	—	8.3	
9	SK-8	*		99	10	—	6.9	
10	SJ 7	*		96	9	—	5.0	
11	SK-9	*		(94)	10	—	(8.0)	先端部折損
12	SK-8	*		94	9	—	5.8	
13	SJ-7	*		(87)	9	—	(4.7)	先端部折損
14	SK-9	*		(86)	11	—	(6.6)	*
15	SJ-8	*		144	11	—	9.6	
16	SJ-7	*		132	11	—	6.7	
17	SK-8	*		(131)	10	—	(7.8)	先端部折損
18	SK-8	*		131	11	—	7.6	
19	SK 8	*		129	10	—	7.4	
20	SK-8	*		128	10	—	10.8	
21	SJ-7	*		128	13	—	12.7	
22	SJ-8	*		127	11	—	8.1	
23	SK 8	*		127	11	—	8.6	
24	SJ-8	*		(123)	10	—	(9.3)	先端部折損
25	SK-8	*		(122)	12	—	(10.9)	*
26	SJ-8	*		118	12	—	11.5	
27	SK-10	*		117	11	—	6.2	

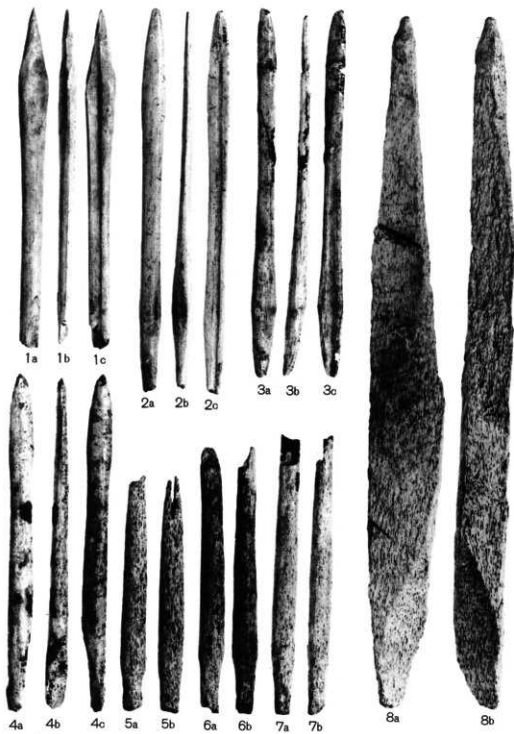


青苗貝塚出土の骨角器 (3)

青苗貝塚出土の骨角器 (4)

写真番号	発掘区	種	類	計測・計量値				備 考
				長さ(mm)	巾(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	
1	SK-8	骨	槍	15	12	75	8.2	
2	SK-7	中	柄	152	10	9	8.3	
3	SJ-9	◇		146	10	75	5.4	
4	SK-8	◇		133	10	85	10.8	
5	SK-8	◇		(94)	10	—	(6.4)	先端一部欠損、ブ レードスリットあり
6	SJ-8	◇		(106)	10	—	(8.2)	*
7	SK-8	◇		(111)	9	—	(8.2)	*
8	SJ-7	加	工 品	254	29	20	85.3	

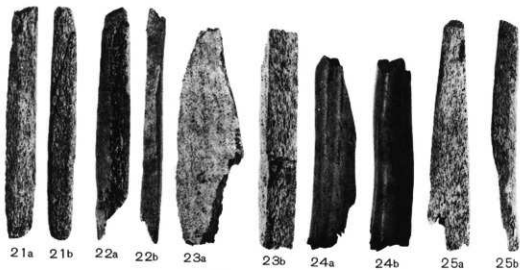
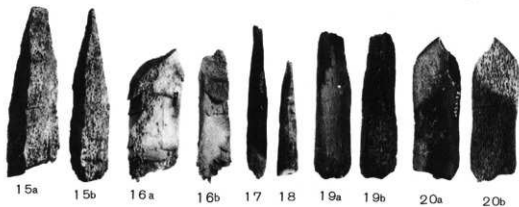
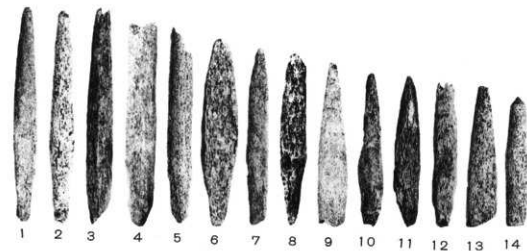




青苗貝塚出土の骨角器 (4)

青苗貝塚出土の骨角器 (5)

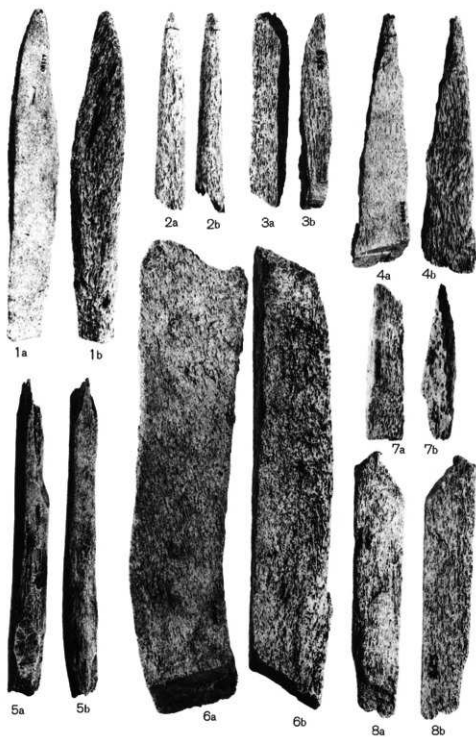
写真番号	発掘区	種	類	計測・計量値				備考
				長さ(mm)	巾(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	
1	SL-10	中	柄	85	9	7.5	3.5	
2	SK-9	*		85	8	11	5.2	
3	SK-7	*		(86)	10	—	(6.0)	先端部折損、フレットスリットあり
4	SK-9	*		(81)	13	—	(9.7)	先端部折損
5	SK-9	*		78	10	—	5.5	
6	SJ-7	*		74	15	8	6.8	
7	SK-9	*		70	9	—	3.5	
8	SJ-7	*		(68)	10	—	(3.5)	先端部折損
9	SK-9	*		(66)	12	5	(3.5)	下端部折損
10	SK-8	*		61	10	7	2.4	
11	SJ-8	*		(60)	11	—	(3.0)	
12	SK-8	*		(58)	9	—	(4.6)	先端部折損
13	SK-9	*		(56)	12	9	(4.2)	下端部折損
14	SJ-10	*		(52)	9	—	(3.0)	*
15	SK-7	加	工品	68	21	18	9.9	
16	SK-8	*		53	19	12	9.1	
17	SJ-7	*		61	8	—	2.8	
18	SJ-7	*		(45)	8	—	(2.0)	
19	SJ-7	*		59	14	8	4.8	
20	SK-8	*		57	19	5	4.6	
21	SJ-8	*		92	12	11	10.0	
22	SJ-8	*		92	13	7	7.5	
23	SJ-8	*		87	26	12.5	19.9	銚頭の製作工程
24	SJ-7	*		87	16	16.5	12.1	*
25	SJ-7	*		91	17	10	6.3	*



青苗貝塚出土の骨角器 (5)

青苗貝塚出土の骨角器 (6)

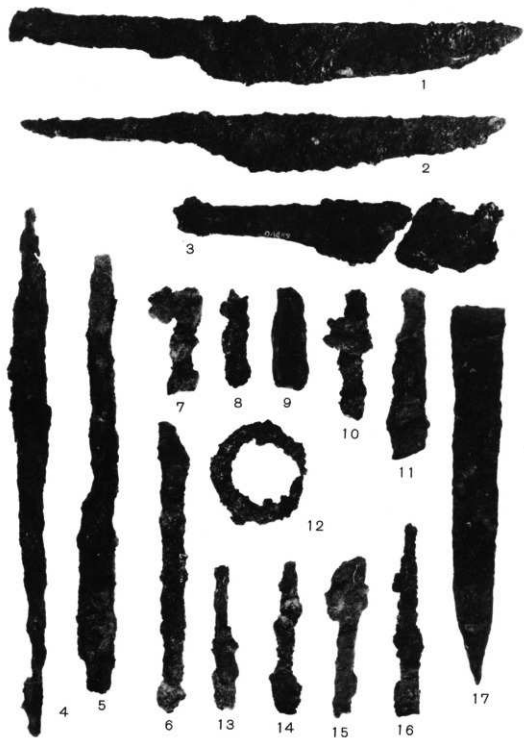
写真番号	発掘区	種	類	計測・計量値				備考
				長さ(mm)	巾(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	
1	SJ-7	加	工 品	132	20	19	27.2	
2	SK-8	釣	針 ?	(80)	12	---	(7.1)	
3	SK-8	加	工 品	77	13	12.5	7.9	
4	SK-8	◇		10	22	13	18.5	平角状
5	SM-10	◇		125	13	—	16.7	
6	SJ-8	◇		177	41	30.5	178.0	角柱状
7	SJ-8	◇		62	14	12	6.2	
8	SJ-9	◇		15	20	21	20.5	角状



青苗貝塚出土の骨角器 (6)

青苗貝塚出土の鉄器 (1)

写真番号	発掘区	種	類	計測・計量値				備考
				長さ(mm)	巾(mm)	厚さ(mm)	重さ(mm)	
1	SJ-9	刀	子	136	15	5	229	
2	SJ-7	◇		128	15	5	18.1	
3	SK-9	◇		(88)	19	5	(13.3)	先端欠損
4	SJ-7	ヤス状鉄器		140	7	6	18.8	両端尖頭
5	SJ 7	◇		(116)	9	6	(21.1)	両端欠尖
6	SJ-7	◇		(77)	5	4	(6.5)	◇
7	SJ-7	短棒状鉄片		28	6	—	2.3	
8	SJ-7	◇		26	6	—	1.4	
9	SJ-7	◇		26	9	—	3.4	木質付着痕あり
10	SK-9	◇		34	6		2.2	
11	SJ-7	利器柄		45	11	3	2.6	
12	SK-9	環状鉄器		27(外径)	15(内径)	5	3.1	シャフトレシ ー六二
13	SK 9	尖頭状鉄器		38	5	—	1.9	ヤスの先端?
14	SJ-8	◇		440	7	—	1.9	◇
15	SJ-7	◇		42	5	—	2.4	
16	SK-9	◇		50	5		2.7	ヤスの先端?
17	SJ-7	クサビ状鉄器		100	14	4	5.6	



青苗貝塚出土の鉄器 (1)

青苗貝塚出土の鉄器 (2)

写真番号	発掘区	種 類	計 測 ・ 計 量 値				備 考
			長さ(mm)	巾(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	
1	SK-9	紡車状鉄器	82	47	6	33.5	山部部 輪部部
2	SJ-8	内耳鉄鍋口縁部	42	27	5	18.6	
3	SJ-8	内耳鉄鍋内耳部	31 (42)	12 (39)	8	31.3	内耳部 壁部
4	SK-9	板状鉄片	45	27	5	18.0	
5	SK-10	曲状鉄片	46	—	7	5.0	
6	SK-10	板状鉄片	44	42	3	12.0	
7	SK-10	◇	43	27	3	4.5	
8	SK-10	叉状鉄器	50	19	9	7.0	釣針?
9	SK-10	角棒状鉄器	45	10	9	8.5	角状空洞
10	SI-10	◇	57	18	9	20.3	角状空洞





青苗貝塚出土の鉄器 (2)

目錄台地  
製鍊遺構・発掘区

貝塚台地 製錬遺構 遺物の出土状態 (1)

- ・ S G 7・8区製錬遺構の平面の状態である。写真中の方位は右側が北。手前の東南方向に走る細長い土堤は長さ約3.5m、幅50cm、高さ20～25cmで、砂質壤土に摺文土器の小片を意図的に混入して構築したもののようである。土堤の盛土の中にはいくつかの径15～20cmほどの砂岩塊が埋れており、すべてに強い火力を受けた焼痕があってヒビ割れが入っている。この盛土の西側は窪みになり全般が浅く焼けている。
- ・ 写真下方と右は土堤の表面に検出した土器片を取除いたあとであるが、土器の混入の状態は裏から床面まで続いている。



貝塚台地 製錬遺構 遺物の出土状態 (1)

貝塚台地 製錬遺構 遺物の出土状態 (2)

- ・ S G - 7 区 焼痕のあるヒビ割れした砂質泥岩。
- ・ S G - 7 区 土器と円棒状自然石の出土状態。



貝塚台地 製鉄遺構 遺物の出土状態 (2)

貝塚台地 製錬遺構 遺物の出土状態 (5)

- ・ S J - 7 区 捺文七器片と出七した鉄滓。
- ・ S J - 7 区 捺文土器の出土状態と円棒状自然石。



貝塚台地 製錬遺構 遺物の出土状態 (3)



貝塚台地 製鎌遺構出土の擦文土器 (1)

写真番号	発掘区	種 類	計 測 値				備 考
			器高(mm)	口径(mm)	底部径(mm)	厚さ(mm)	
1	SG-7	大型深鉢形	340	340	96	6	
2	SG-5	中鉢形	52	62	38	5	
3	SG-7	杯形	37	70	50	6	
4	SG-7	大型深鉢形	306	374	92	7	
5	SG-7	中型深鉢形	179	181	71	5	
6	SG-7	+	(150)	256	—	6	
7	SG-7	小型深鉢形	(96)	153	—	5	
8	SG-7	中型深鉢形	(140)	199	—	4	



貝塚台地 製錬遺構出土の埴文土器 [1]

貝塚台地 製鉄遺構出土の横文土器 (2)

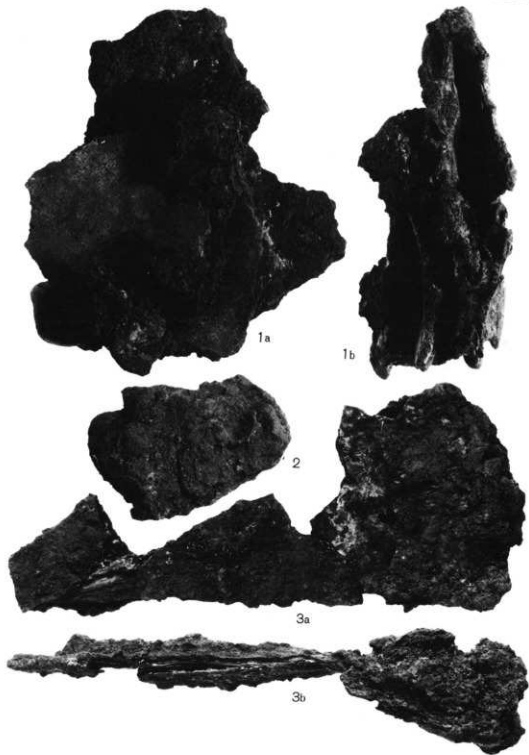
写真番号	発掘区	種 類	計 測 値				備 考
			器高(mm)	口径(mm)	底部径(mm)	厚さ(mm)	
1	SG-7	台付浅鉢形	50	118	51	6	
2	SG-7	中鉢形	85	115	60	5	
3	SG-7	台付浅鉢形	75	151	60	5	
4	SG-7	◇	61	160	63	5	
5	SF-5	◇	83	176	57	4	
6	SG-7	◇	85	170	68	5	
7	SG-7	◇	59	148	50	6	



貝塚台地 製録遺構出土の庶文土器 (2)

## 貝塚台地 製鉄遺構出土の鉄製品

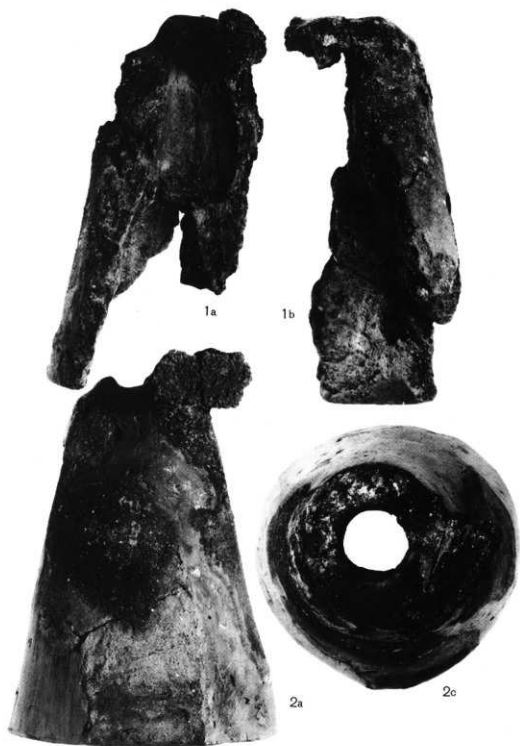
写真番号	発掘区	種	類	計測・計量値				備考	
				長さ(mm)	巾(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)		
1	SG-7	板	状	鉄	144	126	63	410	横文土器2片、小 石を含むしている
2	SG-7	鉄	塊	80	54	27	145		
3	SG-7	板	状	鉄	204	90	—	230	



貝塚台地 製錬遺構出土の鉄製品

貝塚台地 製録遺構出土の羽口

写真番号	発掘区	種	類	計測値			備考		
				長さ (mm)	先端部内径 (mm)	基部内径 (mm)			
1	SG-7	粘土	製羽	11	146	23	87	11	

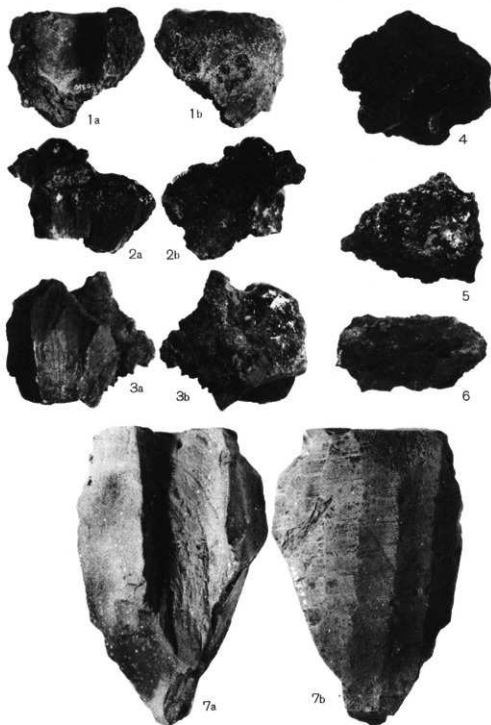


貝塚台地 製鎌遺構出土の羽口



青苗貝塚，貝塚台地，山本台地出土の羽口

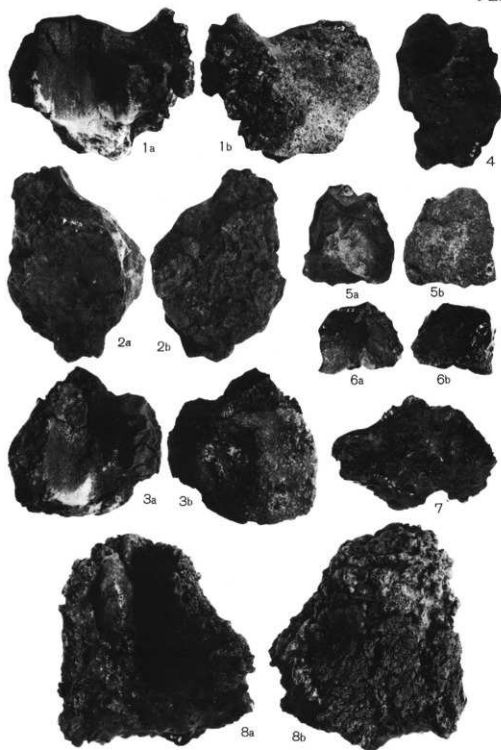
写真番号	発掘区	種 類	計 測 値			備 考
			長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	
1	SG-7	粘 土 製 羽 口	(45)	(52)	12	先端部
2	SK 10	◇	(27)	(50)	11	◇
3	SJ-7	◇	(48)	(58)	20	◇
4	SJ-9	◇	(52)	(55)	15	溶解片
5	SJ-8	◇	(38)	(53)	12	◇
6	SM-10	◇	(33)	(55)	13	◇
7	SK 9	石 製 羽 口	(114)	(72)	23	先端部 未使用破損品



青苗貝塚 貝塚台地，山本台地出土の羽口

山本台地投棄溝、発掘区出土の羽口とスラグ

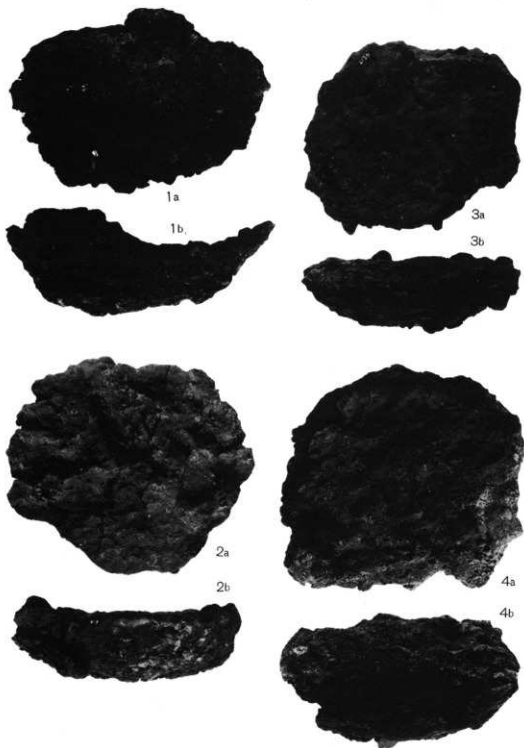
写真番号	発掘区	種類	計測値			備考
			長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	
1	C-1	粘土製羽口	(56)	(72)	12	先端部
2	CW-4	*	(75)	(55)	28	
3	CE-8	*	(57)	(60)	18	先端部
4	CW-2	*	(54)	(31)	12	
5	C-2	*	(40)	(37)	18	先端部
6	CE-12	*	(28)	(29)	14	*
7	C-5	*	(58)	(42)	15	片断
8	C-5	スラグ	(85)	(89)	21	



山本台地投葉溝,発掘区出土の羽口とスラグ

貝塚台地 発掘区、墓所前三叉路 南発掘区出土の鉄滓

写真番号	発掘区	種 類	計 測 ・ 計 量 値				備 考
			長さ(mm)	巾(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	
1	SC-7	碗形鉄滓	138	98	34	400	
2	GE-15	*	116	107	33	600	
3	GE-17	*	115	100	30	590	
4	SG 7	*	128	120	68	890	



貝塚台地 発掘区，墓所前三叉路南発掘区出土の鉄滓

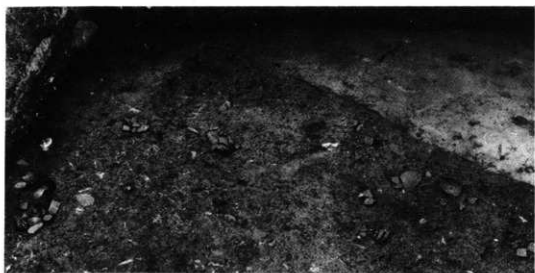
山本台地

投棄溝・発堀区・墳墓

#### 山本台地 投棄溝の検出状態

- ・山本台地は青苗貝塚とはほぼ同一高さで、古くは小沢だったと考えられる現在の道を挟んで、沢口に対峙した位置にある。C-2区の地表下45cmで西側方向に落ち込む乙部層を認め窺穴を予備して12CW-1～CW-4区を拡張した。写真では取除かれているが、遺物は深鉢形、付浅鉢形の標文土器が壁にもたれ突き立てられた状態で出土した。周壁の確認を求めCW-3区を20cmほど掘り下げたところで東側に落ち込む乙部層を把握、同時に西角隅に露呈した灰茶褐色の再堆積層（異層ローム層）と、更に西角隅地すべり層の土の拡がりも検出した。





山本台地、投棄溝の検出状態

#### 山本台地 投棄溝 遺物の出土状態 (1)

- ・土層断面に乙部層が明瞭に落ち込みを示している。出土する遺物は落ち込みの斜面に沿い、次第に出土量を増してくる。CW-3区内の黒色充顔土はやや湿潤である。写真上左手に見える盛土様の箇所は焼土部分で、周辺一帯が赤褐色に焼けている。
- ・写真(中)はCW-2方向のベルト断面、(下)はその平面で乙部層直下から攪文土器が出土する。下方に焼けた灰褐色の岩塊が見えるが、これはさきの焼土と一連のもの。左に見える再堆積層は掘りすぎ。



山本台地 投票溝 遺物の出土状態 (1)

山本台地 投票溝 遺物の出土状態 (2)

- ・ CW-3区の落ち込みの完即土を除去した状態。大量の土器片と円棒石、有孔石などの自然石が出土する。土層断面に炭植層を挟んだ二枚の火山灰層が見られるが、下が乙部層である。上は渡島大島の新しい火山灰であろう。
- ・ 写真(上)の左下部にあった焼土は25×40cmの広さで厚さ12cm。鉄滓を出土した。土器片が内面を上に出立った状態にあるのがよく分る。



山本台地 投棄溝 遺物の出土状態 (2)

### 山本台地 投棄溝 遺物の出土状態 (3)

- ・CW-3、CW-2、C-3、C-2のJ字溝の底面に近い遺物の出土状態である。土器はすべて破片で出土するが、比較的大型のものも多く、復元率が高い。ただし、完全になるものは殆んどなく、必ず数ヶ所は石膏による補修が必要である。骨角器では中柄、海獣の肋骨の出土があった。
- ・写真(上)のL形のベルトを取り外したときの土器の集積状態。



山本台地、投票溝 遺物の出土状態 (3)

山本台地 投棄溝 遺物の出土状態 (4)

- ・CW-2区東西隅の状態で、CW-3区からヘルトを外して斜面を掘った。覆土は黄黒色で有機質に富む軟状の壤土でドライな感じである。出土の上層は台付浅鉢形が目立つ。
- ・一部箇所に魚骨とワニ殻の集積層が検出された。ホックが主で関節骨や埋蓋骨などが確認された。





山本台地 投棄溝 遺物の出土状態 (4)

#### 山本台地 投票溝 遺物の出土状態 (5)

C-2区西壁の上層断面。この部分はU字溝の底面である。写真中央の横に幅広く堆積しているのは、乙部層で上部に黒く薄い腐植をのせている。更にその上に灰褐色の火山灰と乳白色の火山灰c層が被覆した恰好になっており、その上部にも黒い腐植がみられる。Osnに関するものであるが、本遺構には直接的な関係はない。乙部層下の黒色の薄い腐植はOsb?に相当するものらしい。その直下から遺物が包含されている。左の円形に掘られた窪みは肥やし溜めで攪乱されている。右に見えるのがU字状溝の西斜面の最上面で、その下15~20cmの層厚の間に豊富な遺物が包含されている。

- ・C-1区寄りの状態である。出土している大型の骨はアシカ類。



山本台地 投葉溝 遺物の出土状態 (5)

山本台地 投棄溝 遺物の出土状態 (6)

- ・ C W - 2 区における 刀子の出土状態、層間の土質は黒褐色で大きな粒状構造をなしている。
- ・ C W - 2 区角柱状鉄器の出土状態である。



山本台地 投票溝 遺物の出土状態 (6)

#### 山本台地 投棄溝 遺物出土の状態 (7)

- ・ C-2区よりC-1区、CW-1区斜面をみる。C-1区の底面は北に向い徐々に高くなる。当初、この溝を小沢の流路と思っていたが、C-2区より北には河床礫と見られるものが全く存在しないので、何かの窪地を利用したものと考えられる。
- ・ C-1区の遺物の出土状態である。左上にアシカの肩甲骨の一部、右上にクジラの骨などがあり、深鉢形の椀文土器や杯形土器が小範囲にまとまっている。



山本台地 投棄溝 遺物の出土状態 (7)

山本台地 投票溝 遺物の出土状態 (8)

- ・ CW-2区よりCW-1区、C-1区に伸びる西斜面、手前に海獣類の肋骨が分散している。この反対側のCW-1ベルトにかけてオットセイ、アシカが多い。獣骨の下は魚骨、ウニ殻層でCW-1区ベルト付近が厚く、部分的に焼痕があり、筒状になった木炭粒が見られる。
- ・ CW-2区底面直上の魚骨、ウニ殻層。





山本台地 投票溝 遺物の出土状態 (8)

#### 山本台地 投棄溝 遺物の出土状態 (9)

- ・ C-1, CW-1区よりC-3, CW-3を見る。出土遺物の中に貝塚同様の円棒状自然石が多い。
- ・ CW-1区ベルト斜面の広いウニ殻層の焼痕面である。黒色の濃いところが木炭粒、ホッケの歯骨、アワビ、巻貝などが点在する。投棄溝での貝類の出土は極めて少量で、貝塚とは至近距離にあり、出土遺物の内容にも大きな変化が認められず注目すべき現象である。



山本台地 投棄溝 遺物の出土状態 (9)

#### 山本台地 発掘区 遺物の出土状態と自然遺構

- ・ C-6区の遺物はC-5区寄りに多く出土し、C-7区は新無である。山本台地から海側にかけての懸崖には、かつて(縄文中期)幾条かの流路が注いでいたと見られ、発掘区の中にも三ヶ所にその痕跡がある。本区はその一つである。古い時代の流路は可なり強く大量の小円礫を流し河床を埋めているが、乙部層の時代の水勢はそう強いものではなかったらしく沢幅も狭まっている。



山本台地 発掘区 遺物の出土状態と自然遺構

#### 山本台地 発掘区 遺物の出土状態

- ・ C-6区における擦文土器の出土状態で、隣接のC-5区にかけて底部に刻印のあるもの、刻線画のある装飾土器など特異な遺物の出土があった。
- ・ C-8区では台付浅鉢形の2個の擦文土器がほぼ完形で直立の状態で出土した。



山本台地 発掘区 遺物の出土状態

#### 山本台地 発掘区 発掘当初と発掘後の状態

- ・発掘区を南から見る。前方台地は青苗貝塚である。発掘前の状態は荒地で細い草分け道がついていた。左手に掛けられている網は内側の畑地の風よけであるが、それより奥に約20m、北に100mほどが山本台地に所在する遺跡の最も重要な部分となっている。
- ・発掘区の完掘された状態。C-6区同様の流路が手前にもみられる。この流路の右に下る斜面に土師器と胎土、焼成色調、造形の類似する数片の大型の土器片が出土した。なお、この箇所は昭和50年に道教育委員会が予備調査の際トレンチを設けたところである。





山本台地 発掘区 発掘当初と発掘後の状態

山本台地 投栗溝出土の櫛文土器 (1)

写真番号	発掘区	種 類	計 測 値				備 考
			器高(mm)	I径(mm)	底部径(mm)	厚さ(mm)	
1	CW-3	大型深鉢形	278	258	86	6	
2	CW-2	◇	280	286	90	6	
3	C-2	中鉢形	110	150	63	6	
4	C-1	◇	143	161	68	5	
5	CW-3	◇	(66)	118	—	4	
6	CW-1	◇	81	119	56	4	
7	CW-2	小型深鉢形	(07)	127	64	5	



山本台地 投棄溝出土の擦文土器 (1)

## 山本台地 投票溝出土の擦文土器 (2)

写真番号	発掘区	種 類	計 測 値				備 考
			器高(mm)	口径(mm)	底部径(mm)	厚さ(mm)	
1	CW-2	台付浅鉢形	71	161	60	5	
2	CW-2	*	64	154	66	5	
3	C-3	*	54	141	57	5	
4	C-2	*	65	142	58	5	
5	C-2	*	(68)	152	58	6	
6	CW-3	*	49	(103)	48	4	
7	C-2	*	65	134	66	5	



山本台地 投棄溝出土の櫛文土器 (2)

山本台地 投票溝出土の縄文土器 (3)

写真番号	発掘区	種 類	計 測 値				備 考
			器高(mm)	口径(mm)	底部径(mm)	厚さ(mm)	
1	CW-2	台付浅鉢形	67	159	58	5	
2	CW-2	◦	(52)	165	—	5	
3	CW-3	◦	70	163	60	5	
4	CW-1	◦	79	179	63	5	
5	CW-3	◦	69	156	59	6	
6	CW-3	◦	65	153	50	4	
7	CW-3	◦	51	130	55	5	



山本台地 投葉溝出土の櫛文土器 (3)

山本台地 投票溝出土の埴文土器 (4)

写真番号	発掘区	種 類	計 測 値				備 考
			器高(mm)	口径(mm)	底部径(mm)	厚さ(mm)	
1	CW-1	台付浅鉢形	61	158	53	4	
2	CW-3	*	71	178	59	5	
3	CW-2	*	79	172	62	5	
4	CW-1	*	70	148	62	5	
5	CW-2	*	46	106	46	4	
6	CW-3	*	44	101	48	4	
7	CW-3	*	62	144	56	4	

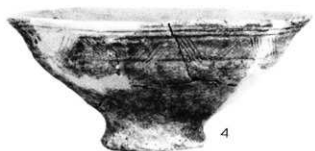
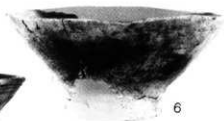
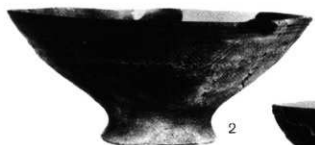




山本台地 投栗溝出土の埴文土器 (4)

山本台地 投票溝出土の縄文土器 (5)

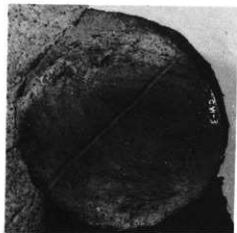
写真番号	発掘区	種 類	計 測 値				備 考
			器高(mm)	口径(mm)	底部径(mm)	厚さ(mm)	
1	CW-3	台付浅鉢形	70	161	60	4	
2	CW-2	＊	66	162	62	5	
3	CW-2	＊	54	154	62	5	
4	CW-1	＊	70	164	57	5	
5	CW-2	＊	32	68	43	5	
6	CW-2	＊	55	119	53	6	
7	CW-2	＊	57	132	49	5	
8	C-1	＊	37	59	45	6	
9	C-2	＊	46	52	37	7	



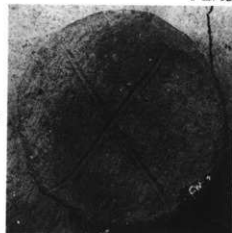
山本台地 投票溝出土の漆又土器 (5)

雑文土器底面の刻印 (1)

写真番号	発掘区	種	類	計 測 値		備 考
				長径 (mm)	短径 (mm)	
1	CW-3	刻	印	5.6	5.1	
2	CW-2	◇		6.0	5.7	
3	SL-10	◇		5.5	5.1	
4	C-2	◇		6.0	5.6	
5	C-2	◇		5.5	5.5	
6	C-3	◇		5.5	5.0	



1



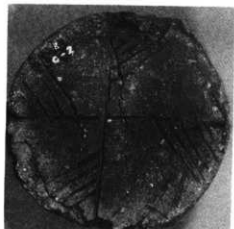
2



3



4



5



6

押文土器底面の刻印 (1)

縄文土器底部の刻印 (2)

写真番号	発掘区	種	類	計 測 値		備 考
				長径(mm)	短径(mm)	
1	SW-2	刻	印	5.1		一部欠損
2	SW-1	*		5.7	5.8	
3	SJ-8	*		5.8	5.5	
4	SJ-7	*		6.0	5.7	
5	CW-1	*		5.2	5.0	
6	CW-1	*		6.6	6.3	



1



2



3



4



5



6

標文. 土器底面の刻印 (2)

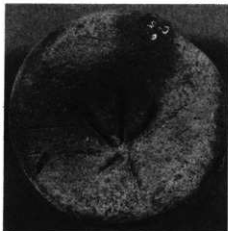
磨文土器底部の刻印 (3)

写真番号	発掘区	種	類	計 測 値		備 考
				長径 (mm)	短径 (mm)	
1	SI-10	刻	印	5.5	5.5	
2	C-5	*		5.1	5.0	
3	SK-8	*		5.6	5.4	
4	C-5	*		5.9	5.5	
5	CW-3	*		4.7	4.7	
6	SL-10	*		5.7	5.4	





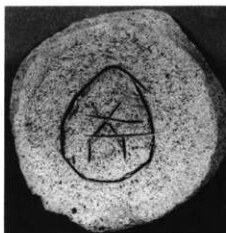
1



2



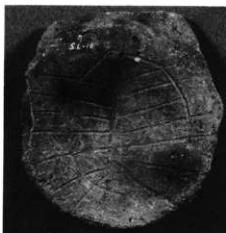
3



4



5

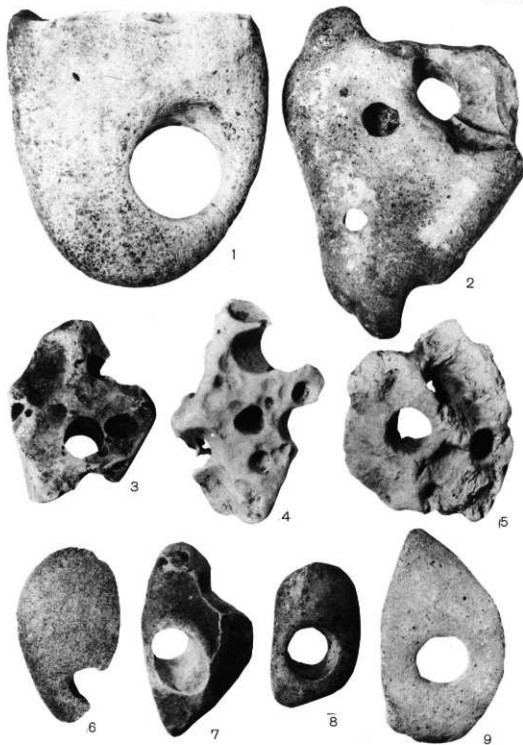


6

土器底面の刻印 (3)

山本台地 投票溝出土の自然石 (1)

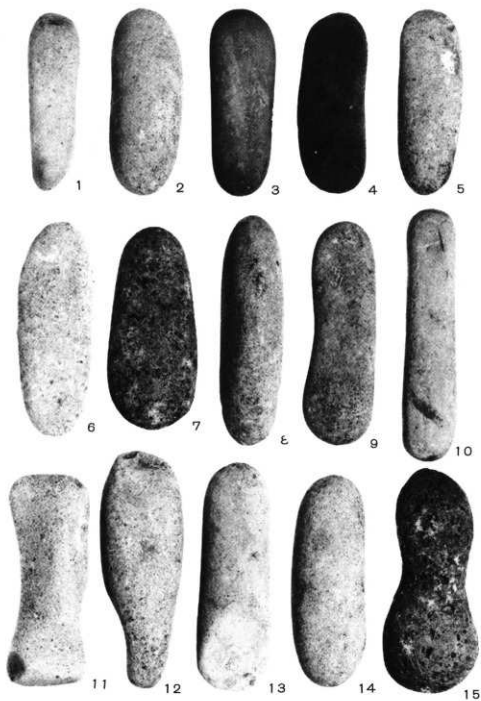
写真番号	発掘区	種 類	計 測 ・ 計 量 値				備 考
			長さ(mm)	巾(mm)	厚さ(mm)	孔径( $\phi$ )	
1	CW-3	有 孔 石	121	115	46	42~41	
2	CW-2	*	149	106	22	16~10	
3	C-2	*	83	64	21	18~17	
4	C-2	*	100	59	31.5	17~13	
5	CW-2	*	91	77	24	19~17	
6	C-2	*	79	47	17	15~13	
7	C-2	*	88	49	25	22~17	
8	CW-2	*	66	44	27	24~17	
9	CW-2	*	89	58	14.5	23~23	



山本台地 投票溝出土の自然石 (1)

山本台地 投票溝出土の自然石 (2)

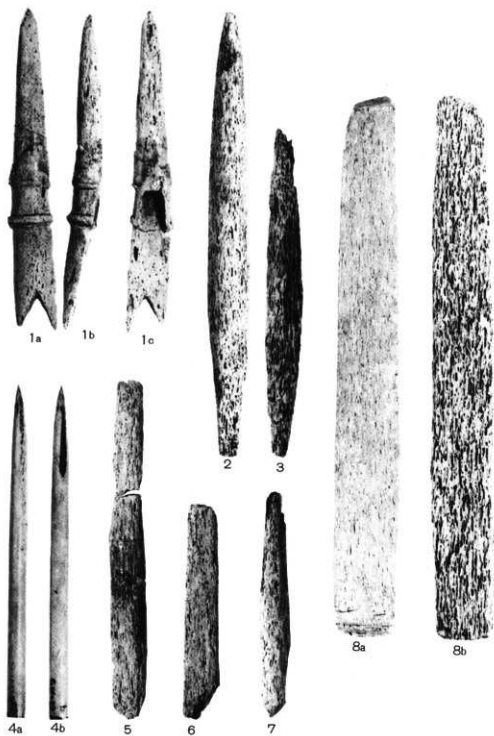
写真番号	発掘区	種 類	計 測 ・ 計 算 値				備 考
			長さ(mm)	巾(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	
1	CW-2	円 棒 状 石	71	18	18	32	
2	CW-2	*	75	30	18	48	
3	CW-3	*	74	26	14	31	
4	CW-3	*	72	27	21	33	
5	CW-2	*	74	26	18	30	
6	CW-2	*	86	30	16	38	
7	CW-2	*	80	36	18	75	
8	CW-3	*	92	25	21	45	
9	CW-3	*	87	29	16	48	
10	CW-2	*	100	22	17	40	
11	CW-2	*	83	32	27	58	
12	CW-3	*	83	33	24	66	
13	C-1	*	90	30	16	52	
14	CW-2	*	84	29	21	68	
15	CW-3	*	87	40	34	142	



山本台地 投棄溝出土の自然石 (1)

山本台地 投票溝出土の骨角器

写真番号	発掘区	種	類	計測・計量値				備	考
				長さ(mm)	巾(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)		
1	CW-2	鹿頭	銛頭	84	11	8	2.5		
2	CW-2	中	柄	117	—	12	7.2		
3	CW-2	◇		86	9	8	3.7		
4	CW-2	刺	突具	88	—	4	1.4		
5	CW-3	中	柄	89	9	7	2.9		
6	CW-3	◇		57	9	6.5	1.7		
7	CW-3	◇		59	—	8	1.5		
8	CW-2	管状	加工品	14.2	17	9	13.7		

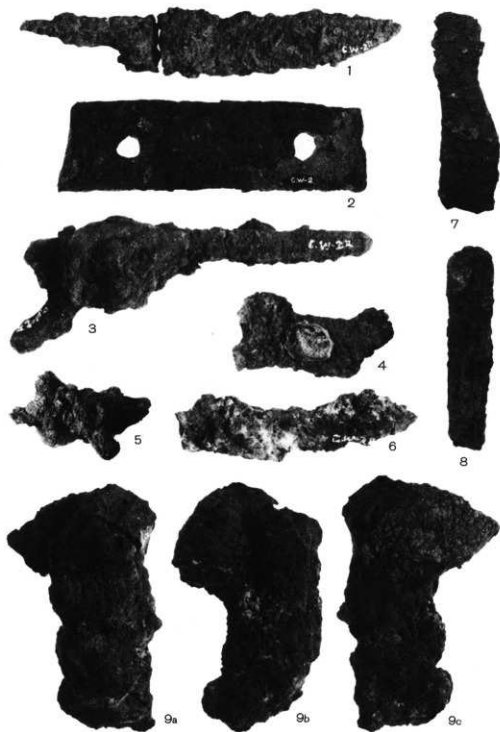


山本台地 投擲溝出土の骨角器

山本台地 投票溝出土の鉄器 (1)

写真番号	発掘区	種 類	計 測 ・ 計 量 値				備 考
			長さ(mm)	巾(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	
1	CW-2	刀 子	101	19	6	12.9	
2	CW-2	刀 柄	81	23	4	72.3	
3	CW-2	角 柱 状 鉄 器	95	30	6	25.2	
4	CW-2	鉄 小 片	39	20	5	5.1	
5	CW-2	*	37	20	14	3.7	
6	CW-2	板 状 鉄 片	64	16	6	9.7	
7	CW-3	曲刀状利器柄?	54	16	6	9.3	
8	CW-3	円棒状鉄器	54	10	10	23.4	
9	CW-3	内耳鉄鏝内耳部	65	25	20	64.5	





山本台地 投票溝出土の鉄器 (1)

山本台地 投票溝出土の鉄器 (2)

写真番号	発掘区	種 類	計 測 ・ 計 量 値				備 考
			長さ (mm)	山 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	
1	CW-3	紡車状鉄器	58	径62 径5	8		円盤部 軸部
2	CW-2	曲状鉄器	68	12	6		
3	CW-2	腐蝕鉄塊	76	40	38		中に鉄心棒あり、径4mm
4	CW-2	円筒状容器底部	92	67	4		



1a



2



1b



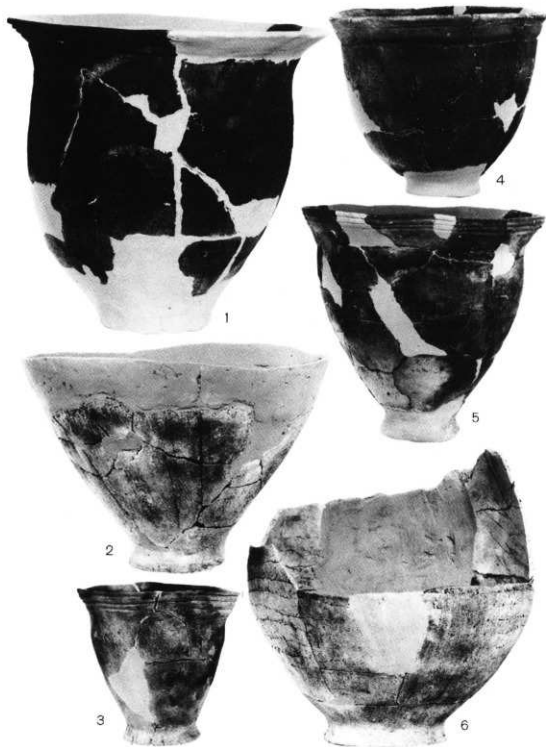
3



4

山本台地 発掘区出土の縄文土器 (1)

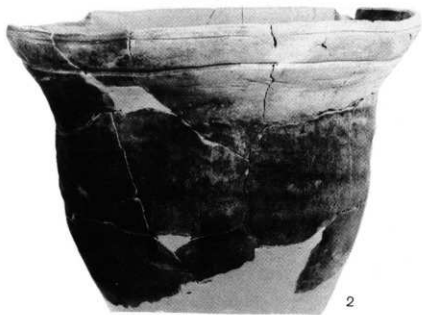
写真番号	発掘区	種 類	計 測 値				備 考
			器高(mm)	口径(mm)	底部径(mm)	厚さ(mm)	
1	CE-8	中 型 深 鉢 形	(208)	258	—	5	
2	C-5	〃	(142)	—	77	5	
3	C-5	小 型 深 鉢 形	125	130	62	5	
4	C-14	〃	(132)	177	—	5	
5	CE-8	中 型 深 鉢 形	180	194	(64)	5	
6	C-6	壺 形 ?	(148)	—	62	5	



山本台地 発掘区出土の埴文土器 (1)

山本台地 発掘区出土の櫛文土器 (2)

写真番号	発掘区	種 類	計 測 値				備 考
			器高(mm)	口径(mm)	底部径(mm)	厚さ(mm)	
1	C-14	中型深鉢形	(74)	169	—	6	
2	C-6	大型深鉢形	(220)	326	—	7	
3	CE-13	*	(194)	300	—	5	



山本台地 発掘区出土の埴文土器 (2)

山本台地 発掘区出土の標文土器 (3)

写真番号	発掘区	種 類	計 測 値				備 考
			器高(mm)	口徑(mm)	底部径(mm)	厚さ(mm)	
1	C-5	台付浅鉢形	68	162	62	4	
2	C-8	〃	75	182	60	6	
3	C-8	〃	72	166	66	4	
4	C-13	〃	72	168	54	5	
5	C-13	〃	55	(158)	54	5	
6	CE-12	〃	57	(148)	57	6	
7	C-5	中鉢形	84	123	54	4	





山本台地 発掘区出土の埴文土器 (3)

山本台地、発掘区および墳墓出土の鉄器

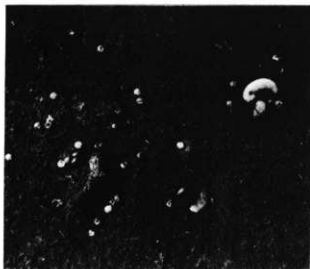
写真番号	発掘区	種 類	計 測 ・ 計 量 値				備 考
			長さ(mm)	巾(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	
1	C 11	鉄 環	41	10	6	3.2	腰刀の締め金具
2	C-9	円筒状容器片	32	18	6	1.8	
3	C-9	＊	34	20	5	2.1	
4	C-9	＊	35	24	6	3.8	
5	C-9	＊	39	31	5	8.2	
6	C-9	＊	37	26	6	5.4	
7	C-9	＊	71	51	4	14.7	
8	C-9	＊	22	18	3	0.7	
9	C-11	円棒状鉄器	52	15	7	10.0	
10	C 10	鑿 刀	378	34	7	230.0	墳墓出土



山本台地 発掘区および墳墓出土の鉄器

#### 山本台地 墳墓玉類と頭蓋骨の出土状態

- ・玉類は埋葬遺体の胸部に施られていたものか、置かれていたものであろう。玉類の種類は硬玉製勾玉、水晶製切子玉、水晶製平玉、ガラス玉である。
- ・頭蓋骨は後頭部と歯が辛ろうじて残っていた。
- ・C-10(西壁寄り)の乙部層直下に発見された墳墓である。ほぼ西頭位の伸張葬で頭蓋と下肢骨の一部が遺在していたが腐蝕が著しい。副葬品は頭部両側に腰刀と胸部付近に玉類が出土した。西北側が扁平な大型の石や小砵化木で囲まれており、墓壁は掘り込んだ形跡がない。



山本台地 墳墓 玉類と頭蓋骨の出土状態

墓所前三叉路

東南・南発掘区

#### 墓所前三叉路 東南発掘区 遺物の出土状況 (1)

・G F区に円形の小土塚が発見された。写真は上部を覆っていたアワビの貝殻と海獣類の肋骨を取り除いたところで、中央に赤く焼けた人頭火の砂岩があり、大型深鉢形の擦文土器2個体が出土した。出土土器の下はウニとアワビの貝殻が粉末化しており、下面の上層は深さ15～20cmに硬い焼土となっている。また、この焼土の中には小さな高脚小甕が約2.5kgほど含まれていた。

・G H区の上器片、鉄滓片、スズの出土状態。